お花見の話

一斉に咲き誇る桜は暖かな春の到来を告げてくれます。コロナ禍で家にこもりがちな昨今ですが、散歩がてらお花見をするのも良いですね。そんなお花見は古くから続く日本の文化で、歴史ある行事です。

●お花見の歴史



お花見の**起源は奈良時代**だと言われ、当時は梅を鑑賞するのが主流でした。**平安時代に入り、梅から桜へ**と移り変わり、**江戸時代**になると、お花見の名所ができ、だんごや宴会を楽しむようになり、**春の娯楽として広がりました。**

また、お花見には「**豊作祈願**」の意味合いもあります。桜の開花は、田の神様がやってきたしるしとし、桜の下で神様の到来を祝い、もてなしました。桜の開花具合でその年の収穫を占ったり、農作業の準備を進めたそうです。



●日本三大桜

福島県　三春滝桜
山梨県　山高神代桜
岐阜県　根尾谷薄墨桜

樹齢1000年以上の巨木で国の天然記念物に指定されています。東海地方にもありますね♪

●日本三大桜の名所

青森県　弘前公園
長野県　高頭城址公園
奈良県　吉野山

それぞれ場所一帯の桜が名所となっています。





お花見と言えば三色団子。その色には意味があります。
桜色・・・春の喜び
白・・・雪、冬の名残
緑・・・新芽、夏の兆し
意味には諸説ありますが、移りゆく日本の四季を感じる趣深い行事食ですね。